

■行政提案型市民協働事業について

<令和6年度テーマ（案）>

1	テーマ（事業名） 開かれた議会をもっとみんなに	担当部署： 議会事務局
	【現状と課題】 令和3年度に実施された、「こまえ市議会だより」の認知度を測った市民調査の結果は59.3%。開かれた議会を目的として改訂後の令和4年度の同調査では「GG（ギカイガイド）」の認知度は18.6%に下がっている。これを踏まえ、令和4年8月号より、WEB アンケートの実施、電子図書館への掲載、マチイロへの掲載により周知方法を増やし対応しているものの、令和5年度の調査は39.0%で、上昇は見られたものの、GGとしての認知度が以前の市議会だよりを上回るまでには至っていない。議会の事をもっとみんな（市民）に知ってもらうため、GG＝議会だよりとして認知度を上げたい。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 ・若者及び子育て世代に、GG＝議会だよりと認知されるものの制作（例えばチラシ等） ・若者及び子育て世代に、GG＝議会だよりと認知される特集記事及び表紙の制作（実際のGG）	
	【協働により期待される効果】 ・テーマ分野に精通した団体との協働により、課題解決に効果的な事業実施が期待できる。 ・特集記事等の見直しにより、みんなが自分事と親近感を覚えるような広報紙となる事が期待される。	
2	テーマ（事業名） 外国人にやさしいまちづくり	担当部署： 企画財政部政策室
	【現状と課題】 令和6年4月1日現在、1,523人の外国人住民が市内で生活を送っているが、言語の面で地域や学校等でのコミュニケーションや日常生活に困難を抱えている人もいる状況である。 狛江市では、平成31年度から日本語での意思の伝達が困難な市民と行政との間で行われる手続き、相談又は面談が的確な意思の伝達に基づいて行われるように、外国語通訳ボランティア派遣事業を行っている。 しかし、制度創設から5年間の年間平均派遣件数は11件となっており、制度の周知が課題となっている。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 言語に困っている外国人に対する外国語通訳ボランティア派遣事業の効果的な周知・啓発	
	【協働により期待される効果】 ・多文化共生社会の推進として、市民への啓発につながる事が期待できる。 ・テーマに理解のある団体との協働により、課題解決に有効な事業実施が期待できる。	

3	テーマ（事業名） 防犯まち歩き（自転車盗対策）	担当部署： 総務部安心安全課
	【現状と課題】 市内の刑法犯認知件数は、昨年は微増（令和4年309件⇒令和5年316件）となったものの、平成14年をピークに減少傾向にある。件数の内訳を分析すると、316件のうち、自転車盗が110件、約35%と大きな割合を占めている。調布警察署・調布市と情報交換を行い、傾向や対策を安心安全通信や駅頭キャンペーン等で周知するとともに、有効な対策であるダブルロックのためのワイヤー錠を配布するなど対策を講じているものの、令和3年78件、令和4年105件と増加傾向にある。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 イメージは、防災まち歩きの防犯バージョン。 調布警察署と連携し、自転車盗の発生多数地域等をGISを用いて分析し、市内を歩きながら現地確認することで、危険箇所の把握、市民の防犯意識の向上を図るほか、対策を検討、実施する。	
【協働により期待される効果】 市民協働で事業を企画、実施することによって、新たな発想や視点を盛り込んだ事業展開が期待でき、市内の刑法犯認知件数の減少、自転車盗の減少につながることを期待できる。		
4	テーマ（事業名） 狛江ブランド農産物のPR活動	担当部署： 市民生活部地域活性課
	【現状と課題】 市内の有志農家がGAP（農業生産工程管理）の取組みにより食の安全を「見える化」することで、消費者の安心の根拠にしようと『狛江GAP研究会』を組織している。平成26年度から狛江独自の生産工程管理手法によって生産された、狛江ブランド農産物（当時は狛江ブランド野菜）の出荷が始まった。市内での直売やふるさと納税の返礼品等の事業を通してPRを行ってきたが、多品目少量生産のため日常的に購入できる機会が限られていることや、農業生産工程管理の取組み自体なじみ深いものではないため広く認知されているとは言えない状況である。狛江ブランド農産物の認知度の向上を図り、更なるブランド化の確立を目指すことが課題となっている。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 狛江ブランド農産物PR活動の企画・調整・運営 例) ・モニター活動 ・収穫体験や料理教室の企画	
【協働により期待される効果】 ・ 狛江ブランド農産物の認知度拡大 ・ 都市農政への理解促進 ・ 地産地消 ・ シビックプライドの醸成		

5	テーマ（事業名） 友好都市交流・越後川口「食文化体験・交流」	担当部署： 市民生活部地域活性課
	【現状と課題】 狛江市と新潟県長岡市川口地域（越後川口）は昭和62年にふるさと友好都市の提携を結び、「第二のふるさと」として35年以上に亘り、事業や相互のイベント参加等を通じて交流を続けてきた一方で、事業内容や参加者の固定化等が課題であり、参加者の裾野拡大と新たな交流を模索する必要がある。友好関係をさらに深めるとともに、越後川口の認知度を高めるため、越後川口の自然・環境・風土の体験を通じて、住民同士の交流の活性化と友好都市交流のPRにつなげる必要がある。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 狛江市内で開催する、誰もが参加できる越後川口の郷土料理づくり体験と交流会事業の企画、調整、運営、PR	
	【協働により期待される効果】 ・市民同士の交流促進 ・友好都市の自然、環境、文化に触れる機会の創出 ・友好都市のPRと認知度拡大	
6	テーマ（事業名） 高齢者等への見守り事業	担当部署： 福祉保健部福祉相談課
	【現状と課題】 近所や地域の付き合いが希薄な社会になったことや、核家族化によって夫婦だけで生活していた後に配偶者との離別や死別により単身となる高齢者が増加していること等の影響から、高齢者の孤独死は特に都市部で増加傾向にあり大きな問題となっている。福祉相談課において、高齢者地域相談事業として、市内3カ所にこまほっとシルバー相談室を設置し、特に高齢者が多く居住する地域での見守り体制を整備しているが、それ以外の地域においても何らかの見守りがなされるよう働きかけが必要である。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 ①チラシの作成・配布 衣類が汚れたままである・家のごみであふれている・理解力が低下したように感じる等のセルフネグレクトや認知面での低下が懸念される事例、新聞や郵便物が溜まっている・昼夜を通して照明が点灯している（または夜間に点灯されない）・姿を見かけなくなった等の孤独死が懸念される事例、これらに気づいた際の相談（通報）先等をまとめたチラシを、見回りをしている方々等の意見も参考に作成し、全戸配布することにより、早期の相談（通報）につなげる。 ②講演会の実施 福祉施設職員等を講師に迎え、気づきや見守りの「コツ」と連絡方法等について講演会を実施することにより、地域住民の理解を深める。	
	【協働により期待される効果】 ・支援や安否確認を必要としている方の情報をいち早く得ることにより、孤独死に至る前に発見・対応することで、一人でも多くの命を救うことが期待される。 ・見守りに関する普及啓発により、市民も「自助・互助・共助」について考える機会となり、自身等の将来のリスクへの備えるきっかけとなることが期待できる。	

7	テーマ（事業名） 子どもたちの学びの場づくり	担当部署： 子ども家庭部子ども若者政策課
	【現状と課題】 現在、市内には、地域団体の運営による様々な子ども・若者の居場所が点在しているが、不登校・集団不適應・ひきこもりなどをはじめとした様々な生きづらさを抱える子ども・若者の「学びの場」となり得るフリースクールの運営について現在市内にはない状況である。このような状況から、様々な子ども・若者が心地の良い居場所として感じる事ができる「学びの場」を確保することが必要である。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 子ども・若者の「学びの場」事業を実施する。 あわせて、子ども・若者の「居場所」や相談の場としていくことで、生きづらさを解消していく。 活動場所の確保等は市が行うが、運営については、団体が行うことで協働事業とする。	
【協働により期待される効果】 不登校児の「学びの場」を確保することで、多様で適切な学習活動につなげ、誰一人取り残すことのない子ども若者施策を推進していく。		
8	テーマ（事業名） 公園を活用したコミュニティガーデンの創出	担当部署： 環境部環境政策課
	【現状と課題】 市内の公園は、開発事業に際して整備された提供公園が多いものの、個々の面積は小さく、比較的近接している特徴があり、どこも同じような公園となっている課題がある。 また、身近にある公園に愛着を持っていただくために、市民や地域が主体となった公園の管理手法を検討していく必要がある。	
	【テーマに対する事業の条件・内容等】 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティガーデンを維持するための知恵や知識、植栽のデザインの手法や園芸作業の技術などの講座の開催。 ・上記の講座のほか、花壇の造成、植物の植えつけなどを行い、コミュニティガーデンの創出を図る。 	
【協働により期待される効果】 人と人の絆を育みながら、地域を緑豊かで、居心地の良い空間に変え、身近にある公園に愛着を持っていただくとともに、「地域の庭」としてシビックプライドの醸成につなげていく。		

9	<p>テーマ（事業名） きれいで安全な歩行空間確保サポート</p>	<p>担当部署： 都市建設部道路交通課</p>
	<p>【現状と課題】 狛江市が管理する街路樹のある市内主要道路については、機械清掃車両等による定期的な道路清掃を委託にて行っている。街路樹の落ち葉の時期と道路清掃の時期が合うよう調整を行っているが、強風等の突然の荒天等に合わせたの道路清掃は、時期の調整が難しい。安全で快適な歩行空間を維持管理していくため、状況に応じて、市内主要道路以外の生活道路を含め、担当課職員にて道路清掃を実施する場合もあるが、日々高まっていく利用ニーズに対応していくには限界があり、市民の皆様にサポートしてほしい。</p>	
	<p>【テーマに対する事業の条件・内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無理のない範囲で、街路樹のある市内主要道路の除草清掃等 ・折れ枝、落下等のおそれのある街路樹や不法投棄物の発見、市への通報 <p>【協働により期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員だけでなく、市が委任した協働事業者による簡易除却清掃等を行うことで、市内の良好な道路空間維持の一助が期待できる。 ・折れ枝、落下等のおそれのある街路樹や不法投棄物の発見により、安全な道路空間の維持が推進される。 	
10	<p>テーマ（事業名） 施設予約システム更新に伴う使い方の周知について</p>	<p>担当部署： 教育部社会教育課</p>
	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課のスポーツ施設利用団体、公民館の公民館利用団体、地域活性課の地域センター・地区センター利用団体に対し、市民センター改修後の利用開始に合わせて、施設予約システムの更新を検討している。 ・現在の施設予約システムは下記の課題がある。 <ul style="list-style-type: none"> ○利用施設により申込様式の相違 ○オンラインによる団体登録ができず、窓口のみの申請 ○キャッシュレス決済ができず、券売機で利用料の支払い ○許可書の窓口での受け取り ・施設予約システム更新について今後詳細の検討を行う予定であるが、施設予約システム更新を行った際に、新システムの利用方法に対する問い合わせが課題と考えられる 	
	<p>【テーマに対する事業の条件・内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインが苦手な方も含め、広く施設を使ってもらうため、新施設予約システムの利便性を享受できるよう、次にあげる事業を提案団体が企画、実施し、市は負担金を支出する。 <p>①施設予約システム変更の周知事業 ②施設予約システム変更の説明事業</p> <p>【協働により期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民（団体）が持つノウハウや人脈を活用した創意工夫のある取組みが期待できる。 ・市民（団体）から市民に事業を実施することにより、市民の困りごとや市民の立場になった気付きに対応することが期待できる。 ・市民（団体）が市民に知識を広める事業自体が社会教育活動となり、社会教育活動の活性化につながる。 ・地域の人材育成、連携が期待できる。 	